



盾のような石の板に囲まれたご神体

高取町の天津石戸別神社で



天津石戸別神社 (高取町)



天津石戸別神社は、貝吹山南西麓にある越智氏

戦勝守護 九頭明神祭る

(住所) 高取町越智85の1
(祭神) 天手力男命
(交通) JR 掖上駅より徒歩約20分
(拝観) 境内自由

(駐車場) なし
(電話) なし
(例祭) 10月第3日曜

居館跡の西に鎮まっています。古くは九頭神社と呼ばれていました。

「越智氏系図」には一八八五(元暦2)年、清和源氏の流れをくむ越智氏の祖の親家が平家の滅亡後に、この地に凱旋したときに戦神として信仰し

ていた九頭明神を戦勝守護神として祭ったと記されています。その際、親家が兜の八幡座と言われる中央部分に九頭銀龍を安置し、九頭上大明神として祭ったという説話も残されています。

この神社には本殿がなく、拝殿・祝詞舎の奥に石垣壇の上に盾のような石の板を立てて囲んだ珍しい玉垣の中央に御神体の榊が植えられ祭られています。本殿のない古い信仰形態の神社で、今も九頭竜明神としての信仰の形が残っています。

(奈良まほろばソムリエの会会員 森川祐美)